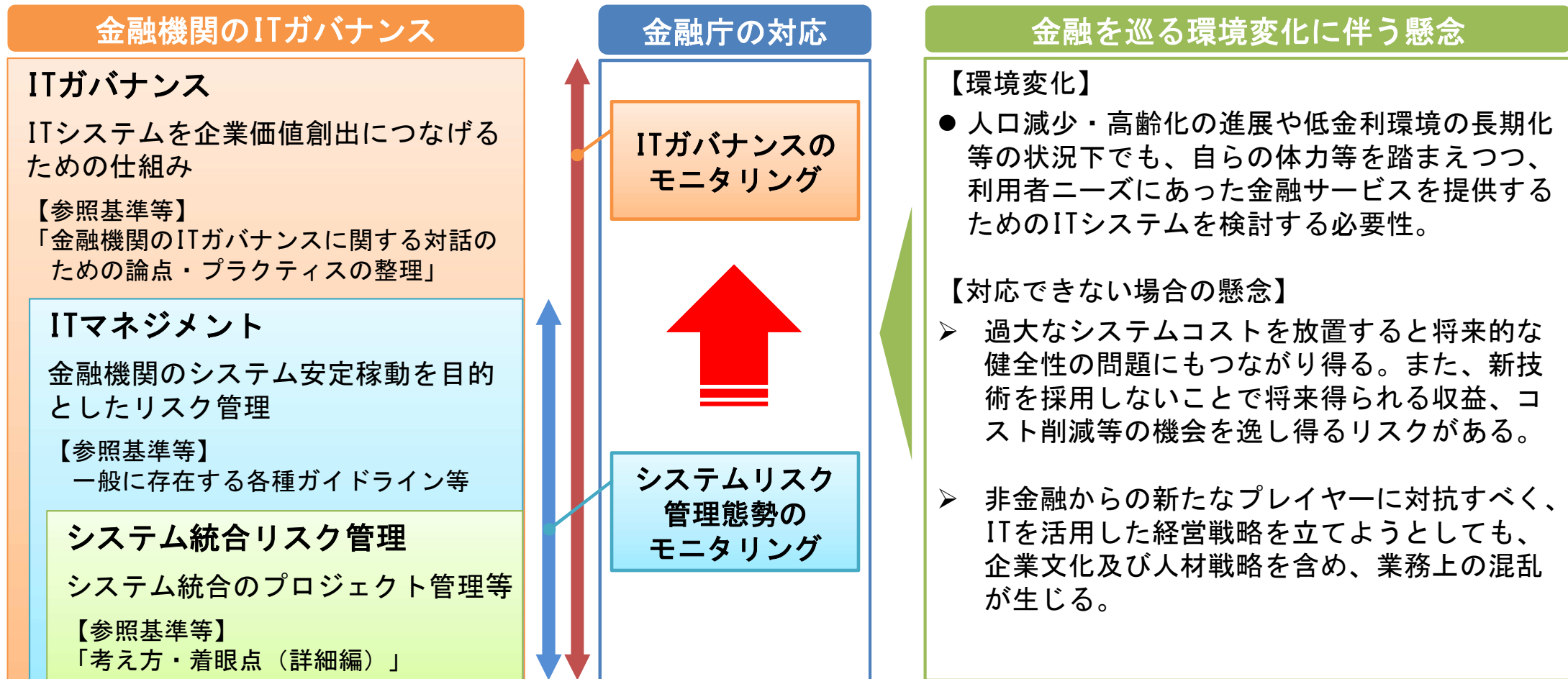




# 「金融機関のITガバナンスに関する対話のための論点・プラクティス」の位置付け

- 金融庁は、従来の検査・監督のあり方を見直し、検査マニュアルを廃止し、「検査・監督基本方針」を公表（2018年6月）した。同方針に基づくIT分野のモニタリングの考え方と進め方について、標記文書の初版を2019年6月に公表した（今回、2023年6月に改訂した）。具体的には、
  - 近年の金融セクターを巡る環境の変化を踏まえ、ITと経営戦略を連携させ、企業価値の創出を実現させるための仕組みである「ITガバナンス」の状況について、金融機関と対話を行う。
  - ITマネジメントのモニタリングについては、一般の基準等を活用する。システム統合リスク管理のモニタリングについては、従来の「チェックリスト（2002年12月）に代わる「考え方・着眼点」を公表した。

## ～ 金融機関のITガバナンスに関するモニタリングの必要性 ～



◆ 企業価値を創出するITガバナンス

システムを安全・安定的に運営する「ITマネジメント（IT管理）」だけでなく、ITと経営戦略・事業戦略を連携させ、企業価値の創出を実現する「ITガバナンス」が構築されているか。

① 経営陣によるリーダーシップ

ITガバナンス構築に当たり、経営陣がリーダーシップを発揮し、主体的に取り組んでいるか。

② 経営戦略と連携した「IT戦略」「DX戦略」

IT戦略・DX戦略が、経営戦略・事業戦略と連携されているか。また、新しいサービスの創出などといったイノベーションのほか、コスト削減・生産性向上などの業務改革に取り組んでいるか。

③ IT戦略を実現する「IT組織」「DX推進組織」

システム部門や外部委託先に任せきりにせず、IT戦略やDX戦略を担う機能が適切に配置されているか。また、例えばシステム部門・DX推進部門と営業部門など、役割と責任が明確にされているか。さらに、トライ&エラーの文化の醸成やIT・デジタル人材の採用など必要な環境が検討されているか。

④ 最適化された「ITリソース（資源管理）」

ITリソース(ヒト・モノ・カネ)がIT戦略・DX戦略に基づき配分され、最適化が図られているか。

⑤ 企業価値の創出につながる「IT投資管理プロセス」

企業価値の創出につながる戦略的なIT投資(DX投資を含む。)が行われているか。また、IT投資に対する効果評価を含むPDCAがまわっているか。

⑥ 適切に管理された「ITリスク」

ITリスクについて、新技術未導入の機会損失やDX推進におけるリスクも含めて、検討されているか。

実効的な「ITマネジメント（IT管理）」

ITガバナンスを支えるために必要なITマネジメントが構築されているか。

従来からの  
モニタリング領域



### 改訂の目的

- 金融庁は、本文書の初版を2019年6月に公表した後、ITガバナンスに関する調査結果レポートと事例集を作成し、2022年6月まで毎年公表してきた。
- 金融機関とITガバナンスの発揮に向けた建設的対話を通じて把握した直近の状況（ベストプラクティスを含む）を踏まえ、今回、本文書にDXの考え方・着眼点を盛り込み、環境の変化に併せ、内容を充実させることとした。

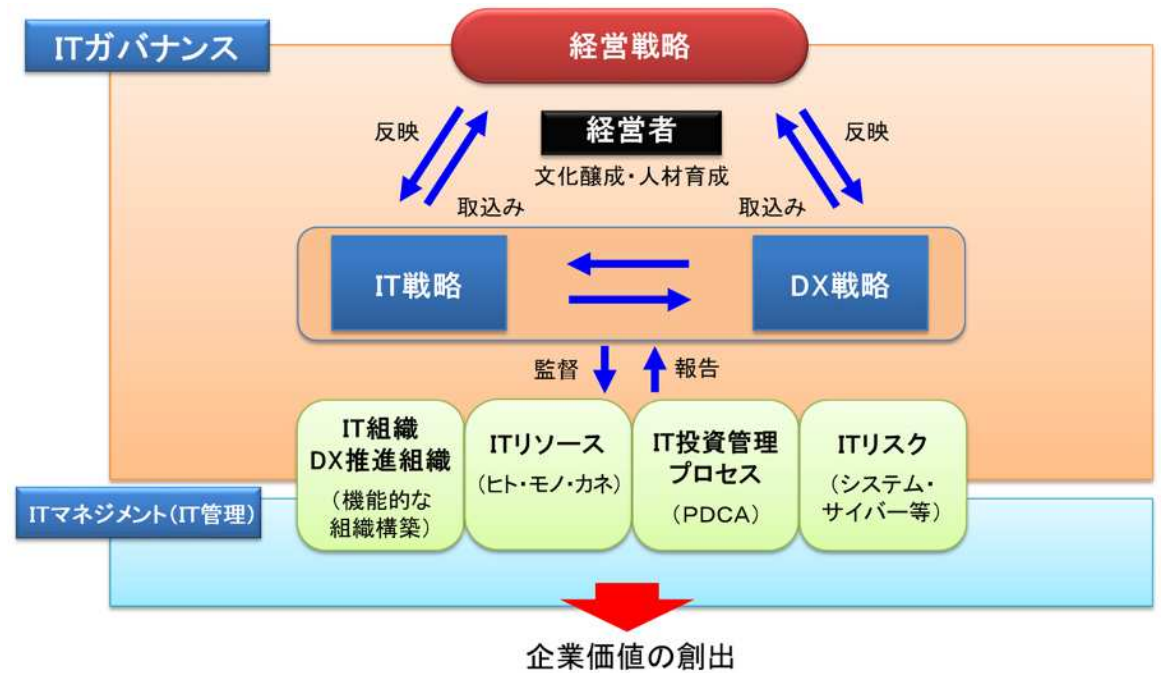
### 環境変化と金融機関の活動

- 少子高齢化などの課題解決と利便性向上の観点から、金融機関には、金融／非金融の領域を超えたサービス拡充や地域の取引先企業のデジタル化支援が求められるようになるなど、金融業界を取り巻く環境は大きく変化した。
  - 金融機関は、近年、新しいデジタルサービスの創出やビジネスモデルの変革に向けた取組みを加速させている。
  - こうした事業拡大の動きは、金融機関の強みである信用によって得られる顧客データや決済システムを活かした事業領域が中心となっている。





- ITガバナンスとは、経営者がITシステムと経営戦略を連携させ、企業価値を創出する仕組み全体を指している。このため、ITガバナンスには、内部統制のみならず、ビジネスの収益を向上させる成長戦略の実現も含まれる。
- IT組織・DX推進組織、ITリソース、IT投資管理プロセス、ITリスクは、金融機関がIT戦略とDX戦略を実現する上で共通する要素である。



## ➤ ITガバナンスに関する考え方や着眼点

- 経営陣がリーダーシップを発揮し、例えば情報発信を続けることで、ステークホルダーの信頼と共感を得ながら、戦略の実現に向けた機運やモチベーションを高めることが重要である。
- 経営陣は、デジタル活用の恩恵を享受する上での前提となるセキュリティをどのように確保するのか、ITリスク（サイバーリスクを含む）をどのように管理するのか等について、バランスを考えながら創造力を働かせて議論を行い、目指す将来像を明らかにしていく必要がある。
- DX戦略では、収益性の向上やビジネスモデル変革に向けて、業務革新、顧客接点拡大、新規事業開発といった戦略領域を定め、中長期的なロードマップを策定することが重要である。